

第20回日本マレーシア学会(JAMS)研究大会 プログラム

大会担当運営委員 片岡樹、鈴木絢女、長津一史、福島康博、見市建

大会準備委員 塩崎悠輝

●日程：2011年12月14日(土)、15日(日)

●会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館

(〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入)

●プログラム

◆12月15日(土) 12:30 受付開始

13:00-13:10 開会挨拶 塩崎悠輝(同志社大学)

13:10-16:55 個別研究報告(会場: RY305 教室)

司会: 多和田裕司(大阪市立大学)

13:10-13:45 【報告1】久志本裕子(日本学術振興会/上智大学)

「現代マレー世界におけるスーフイズムを通じた新たなネットワークの形成」

13:45-14:20 【報告2】光成歩(東京大学大学院)

「イスラーム法制と『社会改革』: シンガポールの1950-60年代ムスリム婚姻法制を巡って」

14:20-14:55 【報告3】長谷川悟郎(筑波大学)

「ボルネオ島イバン村落地における「真正なる儀礼祭宴」(ガワイ・アマット)開催の今日的状況」

14:55-15:10 休憩

司会: 宮崎恒二(東京外国語大学)

15:10-15:45 【報告4】金子奈央(東京外国語大学大学院)

「サバ州における教育の「連邦化」の歴史的展開」

15:45-16:20 【報告5】東條哲郎(愛媛大学)

「近代マレー半島ペラにおける華人錫採掘と非華人リース所有」

16:20-16:55 【報告6】岡本義輝(宇都宮大学)

「ルックイースト政策30年の功罪と今後の課題」

16:55-17:05 休憩

17:05-18:10 会員総会

18:20- 懇親会

◆12月15日(日)

シンポジウム「比較のなかのマレーシア：民族と宗教に関する国家・地域間比較への展望」

(会場：RY305 教室)

9:30 受付開始

10:00-10:10 趣旨説明 長津一史 (東洋大学)

10:10-10:40 【報告1】 長津一史 (東洋大学)

「民族生成をめぐる国家と地域の文脈：マレーシアとインドネシアのバジャウ人」

10:40-11:10 【報告2】 片岡樹 (京都大学)

「南タイのババ文化復興運動にみる『マレーシア性』」

11:10-11:40 【報告3】 見市建 (岩手県立大学)

「マレーシアとインドネシアはなぜこんなに違うのか：イスラームの組織化から考える」

11:40-12:10 【報告4】 福島康博 (東京外国語大学)

「中東からみたマレーシア：イスラーム金融の事例から」

12:10-13:10 休憩

13:10-13:25 【コメント1】 富沢寿勇 (静岡県立大学)

13:25-13:40 【コメント2】 鈴木絢女 (福岡女子大学)

13:40-15:00 総合討論

15:00 閉会挨拶 宮崎恒二 (東京外国語大学/JAMS 会長)